畜産物

京都府　（株）銀閣寺大西
『「サステイナブル和牛JUKU」をEUへ』

【主な品目】

牛肉

【主な輸出先国・地域】

EU、シンガポール　他

【輸出取組の概要】

- ◆ 令和2年9月　シンガポールの既存顧客にむけて「JUKU」の輸出開始。
- ◆ 令和3年1月　イタリアの既存顧客にむけて「JUKU」の輸出開始。
- ◆ 令和3年10月　アヌーガ展示会で出会ったドイツ新規顧客に「JUKU」の輸出開始。
  スイスでのイベント後にスイスに輸出開始。

【輸出実績】（令和2年度から「サステイナブル和牛JUKU」を輸出開始）

	輸出量（t）	輸出額（万円）	出荷時期
令和3年度	4.4	2,530	通年
令和2年度	3.2	2,298	

※牛肉輸出は平成26年度より開始

スイス日本人大使館イベント

スイスでJUKU試食

フィンランドでJUKUをご購入頂いているお客様

【取り組む際に生じた課題】

- リブロースやサーロイン以外の部位の輸出量の伸び悩みに対し、モモやバラ肉の魅力やポテンシャルと共に、日本流の加工技術を伝えることで、和牛全部位輸出を目指している。

【課題への対応】

- 海外の展示会など参加し、現地のお客様に訪問。現地で訪問出来ないお客様にオンラインミーティングなどで各部位の使い方など説明。調理技術を含め、和食のメインディッシュとして提案。

【対応の結果】

- 海外展示会及びオンラインミーティング通して、「サステイナブル和牛JUKU」の品質に対する評価が非常に高く、今まで交雑牛をご購入頂いたお客様が「JUKU」に変更し、継続発注して頂いている。
- 以降、海外展示会を実した日本料理店やイタリアンレストランにおいて定番メニュー化し、継続的な取引につながる。

【今後の課題・展望】

- 京都市中央卸売市場第二市場の輸出認定取得に合わせて販路を拡大。
- 商談会等への参加による新規取扱レストランの開拓（ドイツ・イタリア・イギリス・フィンランド・スイス）。

【活用した施策・施策】 食肉鶏卵の輸出拡大実行戦略及び畜産物輸出コンソーシアム推進事業参加

【ウェブサイト】 https://www.onishi-g.co.jp/　　【連絡先】 担当者名：ペギー、TEL：075-751-0024